

英文 1

内容理解 1

次の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

Sixty-four years after they went their separate ways, high-school sweethearts Donna Baldwin, 81, and Rene Hall, 82, tied the knot Oct. 25.

In the late 1930s, they attended school dances, went on long walks and ice-skated in the park. After graduation, they parted and eventually married others.

When Hall's wife of 61 years died in June, he thought of his old girlfriend. "We lost touch, but you don't forget someone you cared for," Hall said. Meanwhile, Baldwin lost her husband in 1998.

Hall found her phone number, and they met for lunch in August. He asked her to wear a red rose so he would know her after all those years.

They talked for just a few hours before Hall returned to Florida, but they stayed in touch and Hall proposed over the phone.

- 1 Baldwin と Hall は高校時代にはお互いを意識していなかったが、64年後に再会することになった。
- 2 再会したとき、Baldwin は Hall のネクタイをきれいに結び直してあげた。
- 3 Baldwin は夫と死別したが、Hall は妻と61歳の時に離婚した。
- 4 Baldwin と Hall は文通を始めてお互いを良く知ることになった。
- 5 Hall はフロリダに戻ってから電話で Baldwin に結婚の申し込みをした。

アプローチ

* 小説と同じく 5W1H に注意して、読もう。

- ① Baldwin と Hall は、高校時代はどういう関係だったか。
- ② Baldwin の夫婦関係、Hall の夫婦関係は、それぞれいつまで続いたのだろうか。
- ③ Baldwin と Hall の再会とその後の出来事と冒頭の2行は、どういう関係だろうか。

解説

- 1 高校時代は恋愛関係にあり<high-school sweethearts>、デートをしていたので<they attended school dances, went on long walks and ice-skated in the park>、誤り。
- 2 Hall は電話で連絡を取り、8月に昼食を共にした<Hall found her phone number, and they met for lunch in August>。tied the knot は、Oct. 25 の出来事で、ネクタイを結ぶのではなく、結婚するという意味は、全体の話の推移から想像できる(knot は、ここでは絆という意味で、絆を結ぶ=結婚する)。
- 3 Hall の妻は61歳で他界<Hall's wife of 61 years died in June>。
- 4 1を参照。
- 5 正しい。Hall はフロリダに戻る前ほんの数時間話を交わしたに過ぎないのだが、2人は連絡を取り続け、Hall は電話で彼女に結婚を申し込んだ<They talked for just a few hours before Hall returned to Florida, but they stayed in touch and Hall proposed over the phone>

正答=5

【和訳】

高校時代恋人同士だった Donna Baldwin と Rene Hall はその後別々の人生を歩み、64年後、Donna 81歳、Rene 82歳の10月25日に結婚する。

学校のダンスパーティーに行き、遠くまで散歩に出かけ、公園でスケートをした1930年代後半。卒業後は別れ、結局別の人と結婚した。

6月、妻が61歳で亡くなると、Rene は Donna のことを思い出した。「ずっと連絡していないからといって、昔好きになった人を忘れる人なんていないでしょう。」と Hall。一方、彼女も1998年に夫を亡くしていた。

Hall は Donna の電話番号を見つけ出し、8月には昼食に誘った。長いこと会ってないので、彼女だとわかるように赤いバラを付けて来てくれるよう頼んだ。

Rene がフロリダに戻る前のほんの数時間、話をしただけだったが、2人はその後も連絡を取り続け、Hall は電話で彼女に結婚を申し込んだ。

英文 2

内容理解 2

次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

A watch manufacturer conducted a survey on attitudes to time first in Japan(1996), and then in Hong Kong, Germany, the USA and Australia(1997). In each case the respondents were office workers of both sexes.

When asking someone on the telephone to “wait a minute,” the “minute” was 32 seconds in the case of Japan, 51 seconds in Hong Kong and 38 seconds in Australia. In the invitation “Come and have a quick drink,” “quick” meant 1 hour 24 minutes in Japan, 35 minutes in Hong Kong and 1 hour 9 minutes in Australia. In the phrase “I’ll deal with it right away,” “right away” meant 28 minutes and 27 seconds for Japan, 16 minutes and 12 seconds for Hong Kong and 29 minutes and 7 seconds for Australia.

It is a great pity that the Latin countries such as France and Spain were not included in the survey. I am sure that almost everyone who has had the experience of living in Spain has discovered that the “right away” in “I’ll deal with it right away” actually means “in 24 hours time.”

- 1 ある時計メーカーが、時間感覚の国際比較のため三つの共通の質問による電話アンケートを全国一斉に行った。
- 2 この調査は日本を含む五つの国と地域の会社員を対象に行われたが、ラテン系諸国は調査対象になっていない。
- 3 国際電話でものを尋ねるとき一般に待ち時間が長いのは、香港、日本、オーストラリアの順である。
- 4 香港では、一般に職場の同僚による飲み会は1時間以内で早めに終わることが多い。
- 5 スペインで暮らした人ならば、どんなことでも翌日までに必ず処理するという便利な商売の世話になったことがある。

アプローチ

* 調査統計の問題は、その対象・統計・その評価に注意して読もう。

- ① 調査対象は何カ国だろうか。
- ② どういう質問がなされ、どのような回答や統計を得たのであろうか。
- ③ 事実から当然推測できる考えや常識以外は、先入観を捨てて選択肢の正誤を判断しよう。

解説

- 1 全国一斉ではなく、香港などの5カ国・地域である<in Japan(1996), and then in Hong Kong, Germany, the USA and Australia(1997)>。
- 2 正しい<the Latin countries such as France and Spain were not included in the survey>。
- 3 香港・オーストラリア・日本の順<32 seconds in the case of Japan, 51 seconds in Hong Kong and 38 seconds in Australia>。
- 4 「職場の同僚」による飲み会という明確な限定を示した箇所がないので、誤り。
- 5 「便利な商売の世話になった」という価値判断まで下していない。

正答=2

【和訳】

時計メーカーが、1996年に日本で、翌97年に香港、ドイツ、アメリカ、オーストラリアの順で実施した、時間についての調査がある。どの調査も回答者は会社員の男女である。

そこでは、電話の相手に「少々お待ち下さい。」というとき、その「少々」が日本では32秒、香港は51秒、オーストラリアでは38秒と考える人が多かった。「ちょっと飲んで行きましょう。」と誘うときの「ちょっと」とは、日本では1時間24分、香港では35分、オーストラリアでは1時間9分と考えられた。「直ちに対処いたします。」の「直ちに」は、日本では28分27秒、香港では16分12秒、オーストラリアでは29分7秒だった。

フランスやスペインなどのラテン系の国が調査対象でないのはとても残念だ。スペインに住んだことがあるなら、「直ちに対処します。」の「直ちに」が、実は「24時間後」だと、ほぼすべての人が解るに違いない。

英文 3

内容理解 3

次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

William went to work each day at the General Mills plant. The work was hard and dirty, but it was steady and William was not one to complain. Each night he came home, ate dinner, and then picked up his paintbrush.

William painted street scenes that depicted harsh realities of city life. He painted every night for years. His works were displayed only in his closets and spare bedroom. He showed them to no one. In fact, he didn't like talking about his hobby at all if he could avoid it.

One of his friends practically begged William to enter one of his paintings in a local amateur art show. William refused. And refused again the next year. Finally, the third year, he gave in, and William found himself the winner of the grand prize.

Slowly, William overcame his reluctance and allowed some of his paintings to be shown in the public library in a feature of local artwork. A dealer found the work and had to do a lot of talking but finally convinced William to let her see more. A small show and the biggest check William had ever seen soon followed.

- 1 William は将来仕事を辞めて画家になるという夢を抱いていた。
- 2 William の友人の一人が無断で彼の絵を地元のアマチュア美術展に出品した。
- 3 アマチュア美術展に出品し始めてから3年目ようやく William の絵は入選を果たした。
- 4 William の絵は地元の図書館に展示されたが、ほとんど注目を集めなかった。
- 5 美術商は William の絵を見て、もっと彼が描いた絵を見たいと考えた。

アプローチ

* 登場人物に注意して読もう。

- ① 友人は、William に対して何を説得しようとしたのだろうか。
- ② 画商は男それとも女？ 画商のおかげで William はどうなっただろうか。
- ③ the biggest check William had ever seen soon followed の訳に注意しよう。

解説

- 1 仕事を辞めたいと思っただけではない＜William was not one to complain＞。画家になる夢があったわけでもなく、友人が美術展に出品するように懇願しても拒否した＜One of his friends practically begged William to enter one of his paintings in a local amateur art show. William refused.＞。
- 2 1 を参照。懇願した＜begged＞のであり、無断で出品したのではない。
- 3 出品拒否をあきらめて、ついに3年目に初めて出品した＜the third year, he gave in＞。
- 4 ある美術商(女性)が彼の作品を見つけ＜A dealer found the work＞、5のような話になった。
- 5 正しい＜A dealer found the work and had to do a lot of talking but finally convinced William to let her see more＞。

正答=5

【和訳】

来る日も来る日も William はゼネラル・ミル工場で働いた。つらく汚い仕事でも、きちんと給料はくれるので、不平は言わなかった。そして彼は、毎晩帰宅後、夕食を済ますと、絵を描いていた。

都市生活の厳しい現実を題材にした、街の風景を何年にもわたり毎晩描いた。それらの作品はクロゼットや使っていないペッドルームにだけ飾り、誰にも見せることはなかった。事実、話さずに済むのであれば絵を描く趣味について、話すことさえしなかったのだ。

実際、友達の1人が、作品をアマチュア美術展に出品するよう懇願したのだが、彼はすげなく断った。その次の年も同じだった。しかし3年目、彼はついに願いを聞き入れ、最優秀賞を獲得してしまった。

それからは少しずつ、公立図書館の地元芸術家コーナーに自分の作品を展示するようになっていく。ある画商は彼の作品に比類なき才能を認め、説得に説得を重ね、ついに小さな個展を開かせるに至った。そして彼はこれまで見たこともない多額の小切手を手にすることとなる。

英文 4

内容理解 4

次の文の内容に合致するものとして妥当なのはどれか。

Mothers who are frequently up at night with their infant children could be at risk for depression, according to a study in the medical journal **Pediatrics*. Researchers studied the sleep patterns of 700 new moms and their offspring. About half of the women reported that their babies were poor sleepers, and almost 25% of those sleep-deprived moms scored high on depression tests. Researchers discovered that mothers who found ways to get enough sleep by napping when their baby did or having their partners take on some night duty were not depression prone.

**Pediatrics* : 小児科学

- 1 母親と一緒に眠る子供は、一人で眠る子供より、早く親から自立できる。
- 2 幼い子供がいて睡眠不足となっている母親は、憂うつになりやすい。
- 3 離婚した家庭では、子供は睡眠不足になりがちである。
- 4 夫の仕事が忙しく、家に不在がちな家庭ほど、妻がノイローゼになりやすい。
- 5 貧しい家庭では、約 25%の親子が不眠症に悩まされている。

アプローチ

- * 文中の数値は、何に関する数値なのかを意識しながら注意して読み込もう。
- ① この文章の主題は、何だろうか。
 - ② 難しい単語の意味は、選択肢の中から想像して理解しよう。
 - ③ 文法的には、主語と述語をきちんと捉えて読むこと。

解説

- 1 主題は、子供の自立ではない。幼い子供と一緒に夜中に起きることの多い母親は、憂うつ症になる危険性があるという話である<Mothers who are frequently up at night with their infant children could be at risk for depression>。
- 2 正しい。1を参照。
- 3 離婚した家庭における調査統計の話ではない。1を参照。
- 4 夫の仕事ではなく、夫に夜間の赤ん坊の世話を少し代わってもらって十分な睡眠を確保した母親には、憂うつ症の傾向は見られないという話である<Researchers discovered that mothers who found ways to get enough sleep by ……having their partners take on some night duty were not depression prone.>。
- 5 貧しい家庭の話ではない。700組の新米ママと子供の睡眠パターンの調査で、寝ない子供を持つ睡眠不足の母親のほぼ 25%が、うつ診断テストでその危険が高いことが判明した話である。
<Researchers studied the sleep patterns of 700 new moms and their offspring. ……almost 25% of those sleep-deprived moms scored high on depression tests>。

正答=2

【和訳】

医学誌『小児科学』掲載の研究によれば、乳幼児と一緒に夜起きることの多い母親は、うつになるリスクが高くなるという。700組の新米ママと子供の睡眠パターンを調査したところ、母親の約半数が、赤ん坊がよく寝てくれないと訴えており、それによる睡眠不足の母親のほぼ 25%が、うつ診断テストでの結果も高くなることがわかった。さらに、赤ちゃんが昼寝したときに自分も昼寝して十分な睡眠をとっていたり、たまに夜中の赤ちゃん世話を夫に代わってもらっている母親には、うつ傾向が見られないことも指摘している。

英文 5

内容理解 5

次の文で著者が“UFO Catchers”に関して述べていることとして妥当なのはどれか。

UFO Catchers are very popular in Japan. They're a big hit not only with the kids but also with their mothers, salary men, office ladies and couples on dates. We can see these crane games at amusement centers, movie theaters, department stores, supermarkets and even first-class hotels.

When I first saw these games, the prizes were only stuffed animals and cartoon characters. But nowadays we can win almost anything, such as toy cars, wristwatches and cheap jewelry.

The games only cost a hundred yen or so to play one time, but if you feel that you must get the object you are trying to grab with the crane, you might end up putting a lot of coins in the slot. And if you get addicted to them, there's no stopping.

A friend of mine once spent a few thousand yen just to win a small stuffed animal. I hope he realized he could have bought more of these same animals for the same amount at a local store.

I don't know why people love to play UFO games. To release stress? For a cheap challenge? To impress a friend or a lover? I must confess that I fell prey to one of these machines, and on my very first try, I won a wristwatch! It was a cheap thrill-but I hope it won't cause me to return to this game over and over.

- 1 このところ入手できる賞品の質の低下が著しい。
- 2 この機械が設置されている場所は様々である。
- 3 最近では男性よりむしろ女性に人気がある。
- 4 技量が向上するほど熱中してやめられなくなる。
- 5 一見簡単そうに思えるところが人気の秘密である。

アプローチ

* ご存知の UFO Catchers だけに、本文で述べられていること、いないことをきちんと区別しよう。

- ① UFO Catchers で遊ぶ人はどういう人たちなのだろうか。その賞品は？その魅力は？
- ② 筆者はどのような経験をしたのだろうか。

解説

- 1 質の顕著な低下ではなく、賞品の種類が増加していることを指摘している<nowadays we can win almost anything, such as toy cars, wristwatches and cheap jewelry>。
- 2 正しい<We can see these crane games at amusement centers, movie theaters, department stores, supermarkets and even first-class hotels>。
- 3 最近では男性より女性に人気があるとの指摘はない。子供だけでなく、様々な人々に大うけとの指摘である<They're a big hit not only with the kids but also with their mothers, salary men, office ladies and couples on dates>。
- 4 止められない一因を「技量の向上」には求めている。敢えて言えば、賞品がほしいためである<you feel that you must get the object>。
- 5 人気の秘密について考察しているが、「一見簡単そうに見える」記述は見当たらない。むしろ、わからないのである<I don't know why people love to play UFO games>。

正答=2

【和訳】

UFO キャッチャーが日本で大人気だ。子供のみならず、母親、サラリーマン、OL、カップルなどにもヒットしている。ゲーム・センターや映画館、デパート、スーパー、一流ホテルでもクレーン・ゲームが置かれているのだ。

この種のゲームを初めて見たときは、動物のぬいぐるみや漫画のキャラクターが賞品だったが、最近では、おもちゃの車から腕時計、安物の宝石まで、ほとんど何でもありだ。1回100円程度でも、どうしても獲りたければ、結局相当な額をつぎ込むことになる。そしていったん病み付きになるともうやめられなくなる。

私の友達は、小さなぬいぐるみひとつのために数千円使ったがあとという。近所の店に行けば、同じ額でもっとたくさん買えることに気付いてほしいのだが。

なぜ UFO ゲームに引き込まれているのか、私には理解できない。ストレス解消？ 安っぽい挑戦？ 友達や恋人にカッコつけるため？ 正直をいうと私もこの種のゲームがかなり好きで、しかも初めてで腕時計をとっている。陳腐な快感だとは思っていても、それがもて止められなくなるなんてことにならないようにしたい。

英文 6

内容理解6

次の文の内容に合致するものとして妥当なのはどれか。

Italian police held a truck driver for more than 10 hours Nov. 3 after finding a suspicious word in his otherwise perfectly-in-order papers.

The word was “Laden.”

The driver was heading from Italy into Switzerland when he was stopped as part of an operation to trace a truck authorities fear may be carrying explosives for use in an attack ordered by Osama bin Laden.

The driver happily handed his German language documents to police, who at first had few suspicions, until they came across the single word “Laden.”

Unable to speak Italian, the driver could not explain that “Laden” is just German for “load.”

But after a tense few hours it was discovered that the “Laden” was no more offensive than a full load of wine.

- 1 イタリア警察が拘留した運転手は、彼が所持していた書類からドイツ在住のテロリストであることが判明した。
- 2 イタリア警察は拘留した運転手を解放しようとしたときに、トラックに積まれたワインに仕掛けられた爆弾を発見した。
- 3 イタリア警察が拘留した運転手の所持していたドイツ語の書類は、巧妙に偽造されたものであることが判明した。
- 4 イタリア警察が拘留した運転手は Osama bin Laden に訓練された経歴を持っていたが、現在はテロリストではなかった。
- 5 イタリア警察と拘留された運転手との間には言語の壁があり、意思疎通がうまくいかなかったことがトラブルの原因となった。

アプローチ

* この小話の「オチ」は、なんだろうか。

- ① 「疑う」<suspicious>は、「～であると疑う」の意味で、「～でない」と疑う」ではない。
- ② この運転手は、何を運んでいたのだろうか。

解説

- 1 疑惑の根拠となった“Laden”は、実はドイツ語で「積荷」の意味に過ぎなかった<“Laden” is just German for “load.”>。
- 2 “Laden”は積荷のワインと同様、攻撃的なものではないとわかった<it was discovered that the “Laden” was no more offensive than a full load of wine>。
- 3 「偽造」はなく、一言以外、問題のない書類だった<in his otherwise perfectly-in-order papers>。
- 4 1を参照。オサマ=ビン=ラディンに訓練された経歴を持っていたのではなく、運転手はイタリア語が話せなかったため、“Laden”とは単に“load”（積荷）を意味するドイツ語に過ぎないと説明できなかった<Unable to speak Italian, the driver could not explain……>。
- 5 正しい。1と4を参照。

正答=5

【和訳】

イタリア警察は、11月3日、トラック運転手を10時間以上にわたり拘留した。その理由とは、彼が持っていた書類に疑惑の言葉が書かれていたからである。それ以外、何ら問題のない書類であったにもかかわらずである。その言葉とは、“Laden”（ラディン）だった。運転手はイタリアからスイスへ向かう途中、オサマ=ビン=ラディンの指示で攻撃用爆発物を輸送するトラックを発見するための検問で、車を止められたのだ。運転手はドイツ語の書類を快く警察官に渡し、警察も当初、露ほどの疑念もこの男に持っていなかったのだが、“Laden”という1語ですべてが変わった。イタリア語が話せなかった運転手は、“Laden”とは単に“load”（積荷）を意味するドイツ語に過ぎないと説明できなかったのだ。しかし、緊張の数時間が経過し、“Laden”とは、積荷のワイン同様、攻撃的なものではないとわかった。

英文 7

内容理解 7

次の文の内容に合致するものとして妥当なのはどれか。

For more than 14 days smoke drifted over Sydney's famous Opera House while hot winds fanned an encircling band of flame ever closer to the city. As 20,000 fire fighters tackled more than 100 bush fires, police arrested 23 people, 15 of them between the ages of nine and 16, suspected of deliberately starting at least half the blazes. Though residents used swimming pool water to fight the flames, more than 170 homes were destroyed. In Sussex Inlet, south of the city, more than 7,000 people fled the approaching flames.

- 1 オペラハウスは、14日間以上燃え続けた。
- 2 警察は2万人の消防士のうち放火の疑いのある23人を逮捕した。
- 3 山火事を引き起こして有罪判決を受けた放火犯は、全員少年であった。
- 4 住民は、消火作業のために、スイミング・プールの水を使った。
- 5 Sussex Inlet では、7,000人以上が重軽傷を負った。

アプローチ

- * 単語の意味がわからない場合は、前後から推測したりあるいは選択肢の文を手がかりにしよう。
- ① どこで火事が発生したのだろうか。
 - ② 火事の発生原因は何だろうか。
 - ③ 火事によって住民はどのような行動をとったのだろうか。

解説

- 1 オペラハウスが延焼したのではなく、その上空が、14日間以上も煙が漂っていた<For more than 14 days smoke drifted over Sydney's famous Opera House>。
- 2 逮捕されたのは、9歳から16歳までの15人を含む23人である<police arrested 23 people, 15 of them between the ages of nine and 16>。
- 3 逮捕された23人の「有罪判決」の記述なし。また、年齢について述べられているのは、逮捕された23人中15人であり全員が少年であったとは限らない。2を参照。
- 4 正しい<residents used swimming pool water to fight the flames>。
- 5 7000人以上が「逃げ出した(避難した)」<more than 7,000 people fled the approaching flames>。

正答=4

【和訳】

14日以上もの間、シドニーの有名なオペラハウス上空に煙が巻き上がり、吹き荒れる熱風で、火炎が市街地に最も近づいた。2万人の消防士が100件を超える山火事の消火に追われ、警察は、9歳から16歳までの15人を含む23人を、少なくとも半数についての放火容疑で逮捕した。住民はプールの水を使い消火にあたったが、170軒以上の家屋が崩壊した。市の中心部から南方にあるサセクスインレットでは、住民7,000人以上が迫り来る炎からの避難を余儀なくされた。

英文 8

内容理解 8

次の文において、雪男(yeti)の習性として考えられているものはどれか。

The *crevasse was completely dark now. Picking his way carefully along the shelf, with only the light atop his helmet to illuminate the way ahead, the roof above Jack's head became solid ice, a vaulted roof of tiny cones, like the sound baffles in a studio or concert hall, or like crystals of salt or sugar magnified many hundreds of times. Jack decided that a yeti's sight must be better than a human's an observation he put to Byron Cody over the radio.

"That's interesting, Jack," said Byron. "The rest of the great apes, without exception, are **diurnal creatures. So a yeti would be quite unusual if it was ***nocturnal. On the other hand, with no large ****predators to threaten him at night, a yeti may have evolved to take advantage of that fact. Perhaps even to become something of a predator himself." "Well, that's a comforting thought to a man walking in darkness," said Jack. "But it might also explain why so few yetis are seen by men."

*crevasse : クレバス **diurnal : 昼行性の ***nocturnal : 夜行性の
****predators : 肉食獣

- 1 雪男は人間を恐れて昼間は活動しない。
- 2 雪男は夜間に活動して狩りを行っている。
- 3 雪男は寒さをしのぐために多量の糖分を必要とする。
- 4 雪男は大型の肉食獣の標的となりやすい。
- 5 雪男は外敵から身を守るためにクレバスを棲み家としている。

アプローチ

* 情景を想像しながら読もう。

- ① 設問は、「習性として考えられているもの」を挙げるので、何が推測されているのかを慎重に読みとろう。
- ② 文法的には、助動詞の would・may・might などが推測(仮定)を示すことがある。

解説

- 1 大型肉食獣を避けて夜行性に進化したのではないかと推測している<with no large predators to threaten him at night, a yeti may have evolved to take advantage of that fact>。
- 2 正しい。1 を参照。さらに、肉食獣の性質をもつようになったとの指摘がある<Perhaps even to become something of a predator himself>。
- 3 砂糖は、クレバスの天井<like crystals of salt or sugar> と比喻表現されているだけ。
- 4 大型肉食獣を避けてはいるが、「標的」になっているとの記述はない。
- 5 「クレバスを棲み家」とするとの記述はない。

正答=2

【和訳】

クレバスは暗闇に包まれていた。前方を照らすヘルメットの上についた明かりだけを頼りに、ジャックが岩棚づたいに注意深く歩いていると、やがて頭上の天井部分が硬い氷に変わった。小さな円すいできた丸天井は、スタジオやコンサート・ホールの音響装置か、数百倍に拡大した塩や砂糖の結晶のようにも見えた。雪男の視力は人間よりも良いに違いないと、ジャックは無線でバイロン・コーディに伝えた。「いいおもいつきだ、ジャック」とバイロン。「例外なく霊長類は昼行性の動物だ。もし雪男が夜行性だとしたら、普通じゃない。あるいは、大型の肉食獣におびやかされない夜間を利用するため夜行性になっていったのかもしれない。もしかすると、性質が肉食獣に似てきているのかもしれない。」「やれやれ、俺が暗闇を歩いているのに、有難い話だぜ。」とジャックは言った。「だが、それで、なぜ人間がほとんど雪男と接触しないかも説明できる。」

英文 9

内容理解 9

次の文の内容と合致するものとして妥当なのはどれか。

Many Americans are familiar with *The Little Prince*, a wonderful book by Antoine de Saint-Exupery. This is a whimsical and fabulous book and works as a children's story as well as a thought-provoking adult fable. Far fewer are aware of Saint-Exupery's other writings, novels and short stories.

Saint-Exupery was a fighter pilot who fought against the Nazis and was killed in action. Before World War II, he fought in the Spanish Civil War against the fascists. He wrote a fascinating story based on that experience entitled, *The Smile*. It is this story which I'd like to share with you now. It isn't clear whether or not he meant this to be autobiographical or fiction. I choose to believe it to be the former.

He said that he was captured by the enemy and thrown into a jail cell. He was sure that from the contemptuous looks and rough treatment he received from his jailers he would be executed the next day.

- 1 サン・テグジュペリは『星の王子さま』の作品で有名になったが、最近ではそれ以外の小説や随筆がよく読まれている。
- 2 サン・テグジュペリの作品には自叙伝的な作品は少なく、『ほほえみ』も『星の王子さま』同様にその大半はフィクションである。
- 3 サン・テグジュペリの『ほほえみ』が自叙伝かフィクションかははっきりしないが、私としては自叙伝だと考えている。
- 4 サン・テグジュペリの『ほほえみ』は第二次世界大戦で戦ったときの体験に基づいて書かれたものであると、彼自身が語っている。
- 5 サン・テグジュペリの『星の王子さま』は寓話であるが、内容が難しいので子どもよりも大人に読まれている。

アプローチ

* 筆者の『星の王子さま』と『ほほえみ』に対する見解を混同しないようにしよう。

- ① 『星の王子さま』は、大人が読むに値しない子供用のお話に過ぎないのだろうか。
- ② 『ほほえみ』は、いつ書かれたのだろうか。

解説

- 1 『星の王子さま』以外の著作を知っている人は、はるかに少ないとしてる<Far fewer are aware of Saint-Exupery's other writings, novels and short stories>。
- 2 『ほほえみ』が自叙伝かフィクションかは定かではない<It isn't clear whether or not he meant this to be autobiographical or fiction>。
- 3 正しい。2を参照。さらに、<I choose to believe it to be the former(=autobiographical)>も参照。
- 4 スペイン内戦時の体験に基づいたものである<he fought in the Spanish Civil War against the fascists. He wrote a fascinating story based on that experience entitled, *The Smile*>。
- 5 大人だけでなく子どもにも読まれている<This is a whimsical and fabulous book and works as a children's story as well as a thought-provoking adult fable>。

正答=3

【和訳】

アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリの『星の王子さま』は、多くのアメリカ人に知られている傑作である。この風変わりな奇抜な児童文学の名著は、大人をも考えさせてやまない大人向け寓話であるが、これ以外の彼の著作、小説、短編について知る人ははるかに少ない。彼は戦闘機のパイロットとしてナチスと戦い戦死したが、第2次大戦以前にもスペイン内戦でファシストと戦っている。この体験をもとに書かれた魅惑的な物語が、『ほほえみ』であり、ここで私が皆さんにお勧めしたい本なのだ。これが自叙伝か、あるいはフィクションなのかは、はっきりしないが、私は前者だと信じる。敵に捕まり、牢に入った彼は、看守たちから侮辱的かつ手荒に扱われて、翌日には間違いなく自分の死刑が執行されるものだと考えた。

英文 10

内容理解 10

次の文の中で、採用面接において成功する秘けつとして述べられているのはどれか。

In trying to sell yourself and impress another, it is easy to forget that hiring decisions are usually arbitrary and subjective. The Wall Street Journal reported that more hiring decisions are based on personal chemistry than on any other factor, including skills.

How do you create the right chemistry? First, realize it won't always happen. Just as not every date ends with a marriage proposal, not every interview concludes with a new job offer. Nevertheless, you can maximize your chances for success by using a little psychology.

All human behavior is motivated by needs and the drive to satisfy them. Therefore, your trump card lies in identifying the other person's needs and showing how you can satisfy them.

In the context of the hiring interview, the first need is personal and emotional. Your interviewer, being a mere *mortal, needs to feel important and loved. You can fulfill this need in the interview. The key, above all else, is to concentrate on making the interviewer feel good about him or herself. When you express sincere admiration, warmth, and enthusiasm, people will feel as if you like them. Consequently, they will feel good about themselves, and likely respond favorably to you. On the other hand, if you are cold, uptight, judgmental, or in any way threaten their self-esteem or cause them to doubt their effectiveness, their defenses will shoot up. The relationship crumbles and you've lost your chance.

*mortal : 人間

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 面接者に対して好意的に接すること | 2 面接者の質問に冷静に対応すること |
| 3 プライバシーに関する話をしないこと | 4 自分の能力を最大限売り込むこと |
| 5 間違いを指摘されても反論しないこと | |

アプローチ

- * 秘けつになるような要件や条件をピックアップしておこう。
- ① chemistry や trump card は何の比喩に使われているだろうか。
- ② 角度を変えて同じ見解が説明されている点に注意しよう。

解説

- 正しい<When you express sincere admiration, warmth, and enthusiasm, people will feel as if you like them>。
- 逆効果である<if you are cold, uptight, judgmental, or in any way threaten their self-esteem or cause them to doubt their effectiveness, their defenses will shoot up.>。
- プライバシーに関する記述はない。
- 個人的な相性が一番で<more hiring decisions are based on personal chemistry than on any other factor, including skills>, 自分の能力を売り込むことは, 「成功の秘けつ」とまではいかない。
- 「間違いを指摘されても反論しない」との記述がない。

正答=1

【和訳】

自分をアピールし印象づけようとするような場合、そこでの採否の決定というものは、常に独断かつ個人の主観で行なわれることを見落としている人がいる。「ウォール・ストリート・ジャーナル」は、採否は技能や他のなによりも、試験官との相性によって決まることが最も多いとしている。どのようにして面接官との相性をよくすればいいのか？ まず、いつでも馬が合うとは限らないと自分に言い聞かせる。デートをすれば必ずプロポーズするものでないのと同じく、面接即採用にはならない。ところが、少しの心理学の知識で成功のチャンスを最大にすることができるのだ。人間はニーズとそれを満足させようとする衝動から行動する。したがってここでいうニーズとは採用担当者がなにを求めているのかであり、それを見極め、自分こそ要求に答えることができるのだと担当者に思わせることができるかが、決め手となる。採用の面接の場合、第1のニーズとは面接官個人の情緒的な性質のものだ。つまり彼もただの人、おのれが重要かつ愛されていると思いたい。面接ではまず第1に面接官のこの欲求を満たしてやればよい。彼あるいは彼女を気持ちよくさせること、彼らに自信を持たせることに全神経を集中させよう。あなたが心からほめたたえ思いやり、熱意を示すとき、彼らはあなたに好かれているとさえ思い込み、結果、自尊心を満足させあなたに対して好意的に考えるようになる。一方、冷ややかで苛立ち、批判的な態度をあなたが取ったとして、なんであれ彼らの自己肯定感をおびやかす、私はダメだなどと思わしてしまったならば、たちまち、彼らの防衛本能が働き、あなたとの関係は壊滅、最大の好機を逃すこととなるのだ。

英文 11

内容理解 11

次の文の内容と合致するものとして妥当なのはどれか。

“So you think I’m courageous?” Betty asked.

“Yes, I do.”

“Perhaps I am. But that’s because I’ve had some inspiring teachers. I’ll tell you about one of them. Many years ago, when I worked as a volunteer at Stanford Hospital, I got to know a little girl named Liza who was suffering from a rare and serious disease. Her only chance of recovery appeared to be a blood transfusion from her five-year-old brother, who had miraculously survived the same disease and had developed the antibodies needed to combat the illness. The doctor explained the situation to her little brother, and asked the boy if he would be willing to give his blood to his sister. I saw him hesitate for only a moment before taking a deep breath and saying, ‘Yes, I’ll do it if it will save Liza.’

As the transfusion progressed, he lay in a bed next to his sister and smiled, as we all did, seeing the color returning to her cheeks. Then his face grew pale and his smile faded. He looked up at the doctor and asked with a trembling voice, ‘Will I start to die right away?’

Being young, the boy had misunderstood the doctor; he thought he was going to have to give her all his blood.”

“Yes, I’ve learned courage,” she added, “because I’ve had inspiring teachers.”

- 1 ベティは、ある学校の教師から勇気ある行動とは何かを教えられた。
- 2 ベティは、医師に励まされて手術を受ける気になった。
- 3 ライザの弟は、勇気を奮い起こしてライザへの輸血を行った。
- 4 ライザは、新しく開発された抗生物質を投与されることにより命が助かった。
- 5 ライザの弟は、自分が死んでしまうのではないかと不安になり、気絶した。

アプローチ

* 誰のどういう行動がなぜ勇気あるものになるのかを、しっかり読み取ろう。

- ① I’ll tell you about one of them. の one は誰のことだろうか。
- ② 登場人物の関係に気をつけること。

解説

- 1 学校の教師ではなく、勇気を教えてくれた人を“some inspiring teachers”と呼んでいるのである。
- 2 手術を受けたのはライザの弟で、ベティはスタンフォード病院で働いていた。
- 3 正しい<I saw him hesitate for only a moment before taking a deep breath and saying, ‘Yes, I’ll do it if it will save Liza.’>。
- 4 抗体をもつ5歳の弟の血を輸血で助かった<Her only chance of recovery appeared to be a blood transfusion from her five-year-old brother>。
- 5 青ざめただけである<his face grew pale>。

正答=3

【和訳】

「それで私が勇敢だって思う？」とベティがたずねた。「ああ思うよ。」「そう、勇敢かもしれないわ。でも、それは私に勇気を教えてくれた人たちのお陰。その中の一人のことを話すわね。もう随分前になるけど、私、スタンフォード病院でボランティアとして働いていたの。そこでライザっていう女の子と知り合ったんだけど、彼女の病気はめずらしい病気で症状も重かったのね。彼女が治る唯一の方法はその子の5歳の弟からの輸血しかないと思われていたの。ライザと同じ病気だったのだけど、奇跡的に治って、必要な抗体を持っていたのよ。お医者さんはその弟に抗体のことを話して、お姉さんに血をあげてもいいかって聞いたわ。彼はほんの一瞬ためらったけど、その後深く息をして、『うん、あげるよ。ライザが助かるなら。』言ったわ。輸血で、ライザの頬に赤みがさしたのを見て私たちが全員で微笑むと、隣のベッドに横になっていた彼も笑ったの。でもそしたら、弟の顔が青ざめてきて微笑みも消え、お医者さんを見上げ震える声でこう聞いたのよ。『僕、もう死んじゃうの？』って。幼すぎてお医者さんの言ったことを誤解してたのね。自分の血を全部お姉さんにあげなきゃいけないって思っていたのよ。」「そう、私は勇気を学んだわ。」とベティは付け加えた。「勇気というものを教えてくれた人達がいたから。」

英文 12

内容理解 12

次の文において、ラリーが選んだジョークに対して周りの囚人が笑わなかった理由として妥当なのはどれか。

Larry, a bank robber, had just arrived at the prison where he would spend the next twenty years. He was put into a cell (room in a prison) with Al, who had been in the prison for several years. Al was very friendly and explained prison life to Larry. One evening after dinner, Larry got a surprise.

“Thirty-four!” shouted a man in the next cell. Everyone laughed. “Twenty-seven!” shouted someone else. More laughter. “Sixty-three!” cried another. Again, laughter.

Larry asked Al what was going on. “Oh, they’re telling jokes,” said Al, “but everybody’s been here so long they have memorized all the jokes and given each one a number. To save time, they just call out the number of the joke. Then everybody remembers it and laughs.”

“Sounds like fun,” said Larry. “Can I try it?”

“Sure, why not. Go ahead,” answered Al.

“Twenty-three,” shouted Larry. There was complete silence. “Forty-four,” he tried again. And again there was silence. Larry tried a few more numbers, but with the same result. He couldn’t understand, so he turned to Al. “What am I doing wrong?” he wanted to know.

“Well,” answered Al, “some people know how to tell a joke and some don’t.”

- 1 ラリーが選んだジョークを理解するユーモアを周りの囚人が失ってしまったため。
- 2 ラリーが選んだジョークの作り手がみんな死刑囚だったため。
- 3 ラリーが選んだジョークの出来がよくなかったため。
- 4 ラリーが選んだジョークの内容を周りの囚人が忘れてしまったため。
- 5 ラリーが選んだ番号にはジョークが割り当てられていなかったため。

アプローチ

* 小話の「オチ」にたどり着くまでのプロセスも無視しないようにしよう。

- ① この小話は、34番と同じ価値だろうか。それとも23番と同じ価値だろうか。

解説

- 1 囚人はジョークを言い合っており、ユーモアがないわけではない。
- 2 「作り手がみんな死刑囚」との記述はない。
- 3 正しい。ラリーが叫んだ23番や44番のジョークの出来がよくなかったと考えられる。
- 4 「ジョークの内容を周りの囚人が忘れ」との記述はない。
- 5 ジョーク全部に番号がある<they have memorized all the jokes and given each one a number>。

正答=3

【和訳】

銀行強盗のラリーは、これから20年の間暮らす刑務所に到着したばかりだ。房仲間はアルといって、すでにここで数年過ごしていて、とても人なつこく、刑務所での生活のあれこれをラリーに教えてくれた。ある晩の夕食後、ラリーが驚いたことがあった。「34！」と隣の房の男が叫ぶとみんなが笑ったのだ。「27！」とまた他のだれかが叫ぶと、今度はさらに大きな笑いが起きた。「63！」と次の男が叫ぶと、また笑うといった具合だ。ラリーがアルにわけをたずねると、「ジョークを言い合っているのさ。」とアルは言った。「みんな刑務所暮らしが長くなっちゃって、ジョークを全部覚えてるんだ。だからジョークの一つ一つに番号をふたつってわけだ。時間も節約できるだろ。ただ番号を叫ぶだけでいい。するとみんなどんな冗談だったか思い出して笑うのさ。」「おもしろいな」とラリー。「俺もやっていいかな？」「もちろんさ、やってみろよ。」とアルは答え、「23！」とラリーが叫んだ。ところがどうだ。すっかり静まり返ってしまった。もう一度「44！」言った。しかし、またもや反応はない。さらにラリーはいくつか番号を叫んだが、結果は変わらない。理由がわからず彼はアルのほうを振り返り聞いた。「俺、何か間違ってたか？」彼は笑わない理由を知りたかった。アルは答えた。「まあ、ジョークもうまい奴とへたな奴がいるってわけさ。」

英文 13

内容理解 13

次の英文の要旨として妥当なものはどれか。

Some people read instruction for work, which is praiseworthy, and some people read for pleasure, which is innocent, but not a few read from habit, and I suppose that this is neither innocent nor praiseworthy. Of that lamentable company am I.

I would sooner read the catalog of some department or a tourists guide book than nothing at all, and indeed I have spent many delightful hours over both these works.

- 1 学生時代に読書の習慣をつけておくことは、その人にとって一生の財産である。
- 2 まったく何も読まないよりは、デパートのカタログでもよいから読んだほうがいい。
- 3 娯楽のために読む本は、ただ勉強のために読む本よりも価値がある。
- 4 デパートのカタログなどで、読書しているつもりになっている人は無邪気な人だ。
- 5 たくさんの本を読むより、選択した本を十分時間をかけて読むのが一番よい。

アプローチ

* 事実と意見をきちんと区別して読もう。

- ① 何が praiseworthy で、何が neither innocent nor praiseworthy なのだろうか。
- ② Of that lamentable company am I のような倒置法が出てきたら、語順を入れ替えよう。

解説

- 1 「学生時代」に関する記述がない。
- 2 正しい<I would sooner read the catalog of some department or a tourists guide book than nothing at all>。
- 3 仕事でも賞賛に値する<Some people read instruction for work, which is praiseworthy>。
- 4 娯楽での読書が無邪気だとしている<some people read for pleasure, which is innocent>。
- 5 本の選択や読書時間に関する記述がない。

正答=2

【和訳】

説明書を仕事で読む人がいるが、それは賞賛に値する。楽しみで本を読む人もいるが、それは無邪気なことだ。これに対して、習慣から読書をする人も少なくない。これに対して私は賞賛もしないし、無邪気だとも思わない。私はそういった嘆かわしい連中の一人だ。私は、何も読まないよりはデパートのカタログや旅行ガイドを読んでいた。事実、この二つを読んで、何時間も楽しく過ごしたものだ。

英文 14

内容理解 14

次の英文の筆者の主張として最も適当なものはどれか。

The Japanese, like all peoples, have been shaped in large part by the land in which they live. Its location, climates, and natural endowments are unchangeable facts that have set limits to their development and helped give it specific direction. In our study of the Japanese, therefore, we shall start with this geographic setting.

- 1 日本人の研究をするには、他国民の場合と同様に多大の影響を受けている地理的条件から始める必要がある。
- 2 日本はその地理的条件によって、国富の蓄積や、海外発展の面で多くの制約を受けてきた。
- 3 日本の地理的条件はかなり特殊であるが、日本人はそのハンディキャップをよく克服した。
- 4 日本人は他国民に比べ、国土の地理的条件から特に多くの恩恵を受けている。
- 5 日本の研究は、その国土の位置や大きさなどの面を考慮に入れて、根本からやりなおす必要がある。

アプローチ

- * 評論は、筆者の主張に沿って内容を確認しよう。常識で判断すると間違ふ恐れがある。
- ① 何についてどの程度言及され、何について言及されていないのかをきちんと区別しよう。
- ② 比較表現・数量表現には注意しよう。

解説

- 1 正しい<we shall start with this geographic setting>。
- 2 国富や海外発展に関する具体的な指摘はない。
- 3 ハンディキャップの克服まで踏み込んだ言及がない。
- 4 他国民に「比べ」ではなく、他国民と「同様に」である<The Japanese, like all peoples, have been shaped in large part by the land in which they live>。
- 5 日本人の研究は地理的条件から「始める」、と指摘している。

正答=1

【和訳】

すべて民族と同じように、日本人は、風土に影響を受け、その気質のかなりの部分を築いてきた。地理的位置であるとか、気候、自然環境は普遍の事実として、発展の限界を画するとともに、独特な方向性を与えることにも寄与する。しかるに、われわれの日本人研究は、地理的条件から始めることとするものである。

英文 15

内容理解 15

次の英文の内容と一致しているものはどれか。

Men have been interested in the stars ever since they first looked up into the sky. Some of these stars may have their own planets. If that is so, intelligent life may be on one of them. But the nearest star is four light years away. In other words, light from it has been traveling for four years when it reaches us. Nobody from the earth will ever visit that star because it will take a rocket 100,000 years to reach it.

- 1 知性のある生物が住むと推定される天体のうち、最も近いものでも地球とは4光年の距離がある。
- 2 夜空に輝く恒星は、それぞれにその周囲を巡る惑星を持っている。
- 3 知性のある生物が住む天体が存在するとしても、人間がその天体を訪れることは不可能である。
- 4 現在では、知性のある生物が住む天体が確実に存在することがほぼ証明されている。
- 5 現在のところ、ロケットの速度は光速の10万分の1にすぎない。

アプローチ

- * 選択肢の修飾語(例えば、「知性のある」生物・「周囲を巡る」惑星)に細心の注意を払おう。
- ① 文相互の関係に気をつけよう。
 - ② 断定と推測の違いに注意しよう。

解説

- 1 地球から最も近い星が4光年離れているとだけ述べているだけで、生命体がある星とは述べていない。
- 2 推測しているだけである<Some of these stars may have their own planets>。
- 3 正しい<Nobody from the earth will ever visit that star>。
- 4 2と同様に、知性のある生物が住む天体が存在するかもしれない、と推測の域を出ていないのである<intelligent life may be on one of them>。
- 5 光が4年かかるところを、ロケットは10万年かかるとしている(本文の速度比では、ロケットの速度は光速の25000分の1)。

正答=3

【和訳】

人間は初めて空を見上げて以来ずっと星に興味を抱き続けてきた。その中のいくつかは自分の惑星を持っているかもしれない。もしそうなら、それらのひとつに知的生命体が存在してもよい筈だ。しかしながら、最も近い星でも4光年離れている。言い換えれば、そこから放たれた光が我々のもとに届くには、4年の月日がかかるということだ。地球からその星に出かけてみようなどという人は誰もいない。たどり着くまでにロケットで10万年もかかるからだ。

英文 16

内容理解 16

次の文の内容に合致するものとして妥当なのはどれか。

Phi Phi island, which was made famous by the film “The Beach,” would be closed for up to two years to repair environmental damage under a tourist police proposal reported Tuesday.

A tourist police commander, Colonel Sanit Meephan, told a daily newspaper, The Nation, that the tiny island had become badly polluted because of a lack of facilities for coping with a boom in tourism over the past few years. Poor infrastructure had led to problems with waste disposal and water pollution.

In 1998, environmentalists staged demonstrations opposing the filming on Phi Phi of the Hollywood production “The Beach,” starring Leonardo Dicaprio, which they said tampered with the ecology.

- 1 映画 “The Beach” で有名な Phi Phi 島は環境保護の目的で、2 年前から閉鎖されている。
- 2 観光警察の Sanit Meephan 長官は、週刊誌に Phi Phi 島は環境悪化が進んでいると発表した。
- 3 観光警察によると、Phi Phi 島で映画撮影が行われて以来、観光客のマナーが悪くなってきた。
- 4 インフラの不足が Phi Phi 島のゴミ処理及び水質汚濁の問題を引き起こしてきた。
- 5 1998 年には環境保護団体の抗議により、映画の撮影が一時中断を余儀なくされた。

アプローチ

* 単語の意味を正確に理解し、因果関係を間違えないようにしよう。

- ① 「2 年前から閉鎖」と「2 年間の閉鎖」とは意味が違う。
- ② a boom in tourism と poor infrastructure のどちらが原因なのだろうか。

解説

- 1 今後 2 年間観光客を入れない予定である<Phi Phi island, …… would be closed for up to two years to repair environmental damage>。
- 2 週刊誌ではなく日刊紙である<Colonel Sanit Meephan, told a daily newspaper, The Nation>。
- 3 観光客のマナーではなく、島は過去ほんの数年にわたる観光ブームに対応するだけの設備がなかったために非常に汚染されてしまった<the tiny island had become badly polluted because of a lack of facilities for coping with a boom in tourism over the past few years>。
- 4 正しい。インフラ不整備のため、ゴミ・水質汚染問題が起きた<Poor infrastructure had led to problems with waste disposal and water pollution>。
- 5 「撮影が一時中断」の記述はない。1998 年、環境保護運動家たちは、撮影反対のデモを行った<In 1998, environmentalists staged demonstrations opposing the filming on Phi Phi of the Hollywood production “The Beach,” starring Leonardo Dicaprio, which they said tampered with the ecology>。

正答=4

【和訳】

映画 “The Beach” で有名になった Phi Phi 島は、破壊された環境を修復するため、今後 2 年間観光客を締め出すことになりそうだと、火曜日に出た観光警察の提案書が伝えている。観光警察の Sanit Meephan 署長は、日刊紙 The Nation のインタビューで、小さな島がここ数年の観光ブームに対応できる設備がなかったため汚染がかなり進み、インフラ不備のためのゴミ処理・水質汚染の問題が起きたとしている。1998 年に環境保護運動家たちは、レオナルド=ディカプリオ主演のハリウッド映画 “The Beach” の PhiPhi 島での撮影が、島の自然を破壊するという理由で、反対のデモを行っていた。

英文 17

内容理解 17

次の英文の要旨として最も適切なものはどれか。

Most people, when they are left free to fill their own time according to their own choice, are at a loss to think of anything sufficiently pleasant to be worth doing. And whatever they decide on, they are troubled by the feeling that something else would have been pleasanter.

To be able to fill leisure intelligently is the last product of civilization, and at present very few people have reached this level. Moreover, the exercise of choice is in itself tiresome. Except for people with unusual initiative it is positively agreeable to be told what to do at each hour of the day, provided the orders are not too unpleasant.

- 1 たいていの人々は、自分の決めたことには一生懸命努力するのが当然だと考えている。
- 2 余暇は文明の産物だが、まだ人々の間に十分行きわたってはいない。
- 3 自分で自分の時間を律することは、人間にとって極めて難しいことである。
- 4 多くの人々は、余暇をいかにうまく利用するかということにいろいろ工夫を凝らしている。
- 5 時間の使い方は自分で考えるよりも他人に決めてもらうほうがうまくいく。

アプローチ

- * 選択肢の日本語の語感に注意して、勘違いしないようにしよう。
- ① 「余暇をうまく過ごせる人が少ない」と「余暇を過ごす人が少ない」とは違う。
- ② 「他人の決定に従う」と「他人の決定の方がうまくいく」とは違う。
- ③ 英文の主語と述語の組み合わせ、受動態に気をつけて英文を読もう。

解説

- 1 たいていの人々は、自分で決めても別の何かのほうがもっと楽しいのではないかという気持ちに悩まされる<whatever they decide on, they are troubled by the feeling that something else would have been pleasanter>。
- 2 余暇を賢明に過ごす水準に達している人が少数なのだといっている<To be able to fill leisure intelligently is the last product of civilization, and at present very few people have reached this level>。
- 3 正しい<whatever they decide on, they are troubled by the feeling that something else would have been pleasanter><the exercise of choice is in itself tiresome>。
- 4 2を参照。
- 5 時間の使い方は、他人の決定に依存するのではなく、その方が断然同意しやすいと主張しているだけである<it is positively agreeable to be told what to do at each hour of the day>。

正答=3

【和訳】

時間を自分の好きなように使ってよいと言われたら、ほとんどの人は、何が充分に楽しく、何がやる価値のあることかと考えて行き詰ってしまう。そしてどう決めたとしても、別な何かの方がもっと楽しかったのではないかという気持ちに陥ってしまう。

余暇の知的活用は文明が生み出した最も新しいもので、現在のところ、ごくわずか人しかこのレベルに達していない。さらにいえば、選ぶとことはそれ自体退屈なものなのである。並みはずれたイニシアチブを持った人達を除けば、各時間にやることを命令されるのも、それが特に不愉快でなければ、全く異論を持たずに受け入れられる。

英文 18

空所補充 1

次の英文の空所ア～ウに該当する語の組合せとして、最も妥当なのはどれか。

In most ways my life in Tokyo is more interesting than the life I lead in New York, but I miss the opera and the concerts I *regularly while in New York. Of course, Tokyo has many musical events too, but the tickets are not only but to obtain. My chief *diversion in Tokyo is going to the department stores, both to admire the marvelous *diversity of *merchandise on display and to exhibitions of art. In New York I rarely go to a department store for any reason.

*regularly……定期的に *diversion……気晴らし *diversity……多様性
*merchandise……商品

	ア	イ	ウ
1	attend	expensive	difficult
2	attend	expensive	easy
3	get	expensive	easy
4	get	reasonable	difficult
5	get	reasonable	easy

アプローチ

* 文意を的確に理解しながら、語句を選ぼう。

- ① には、the opera and the concerts と関連の深い動詞が入る。
- ② とには、the tickets が高いのかお買い得なのか、入手が困難なのかそれとも入手が容易なのか、の選択をしよう。

解説

ア : <I miss the opera and the concerts I regularly while in New York>は、私がニューヨークにいる間、定期的にするオペラやコンサートがなくて寂しい、という意味である。オペラやコンサートは観るものや行くものであるから、get よりも attend の方がよい。

イとウ : <but the tickets are not only but to obtain>は、しかし(音楽関係のチケットは、手に入れるのがだけでなくである、という意味である。<My chief diversion in Tokyo is going to the department stores>は、東京での私の主な気晴らしは、デパートに行くこと、という意味である。これらから、チケットが高くさらに購入が難しくコンサートに行けず、その代償としてデパートに行くと考えられる。イには、reasonable よりも expensive の方が、ウには、easy よりも difficult の方がよい。

正答=1

【和訳】

ほとんどの場合、東京での暮らしはニューヨークよりも面白いが、ただひとつニューヨークであればオペラやコンサートに定期的に行けるのにと寂しく思うことがある。もちろん東京にも音楽関係のイベントがたくさんあるが、切符が高すぎるだけでなく、入手しづらい。東京での私の主な気晴らしは、デパートに行くことで、驚くほど多様性に富んだ展示商品に感心し、さらに絵画展に行くのだ。ニューヨークならどんな理由であっても、デパートへは行かない。

英文 19

空所補充 2

次の文は笑い話であるが、に入るものとして最も妥当なのはどれか。

The college had a very good football team, and its best player was a student who always had trouble in school. Then one year the dean of the college said that the player would have to leave because he had cheated on an exam. The football coach immediately went to the dean to try to persuade him to let the student stay in school. The dean showed him two answer papers. "This one is Susan's paper. She's the best student in the class," he said. "And this one's your football player's. They're exactly the same. The football player sat at the next desk, and just copied from her."

"But maybe she copied from him," the coach said. "You can't prove it was the other way."

"Look at this," the dean said. "Susan didn't know the answer to this question, so she wrote, 'I don't know.' And your football player wrote, ''"

- 1 I know the right answer.
- 2 I don't know.
- 3 This question is too difficult for me.
- 4 Only God knows the answer.
- 5 Neither do I.

アプローチ

* スーザンの答案をカンニングしたことが間違いなく証明できる英文を探そう。

- ① the dean of the college の意味がわからない場合は、頭の中で「大学の dean」と訳しておこう。
- ② Neither は、「～もまた…ない」という意味で、ここではキーワードになる。

解説

- 1 正解はわかる<I know the right answer>と解答しても、カンニングにならない。
- 2 わかりません<I don't know>では、カンニングしている証明にはならない。
- 3 僕には難しすぎる<This question is too difficult for me>では、カンニングを証明できない。
- 4 神のみぞ知る<Only God knows the answer>では、カンニングにならない。
- 5 正しい。「同じくわかりません」<Neither do I>と書いてあれば、スーザンが「わかりません」<she wrote, 'I don't know.'>と書いたことを前提としていることになる。

正答=5

【和訳】

その大学にはとても優秀なフットボールチームがあったが、チームのトップ選手は学内でいつも問題を起こしていた。ある年、学部長がその生徒を退学させるべきだと言った。テストでカンニングしたと言うのだ。チームのコーチは、学生を学校に残すため、学部長を説得しようとすぐさま出向いた。学部長はコーチに答案を2枚差し出し、「これはスーザンの答案です。彼女はクラスのトップです。」と言った。「そして、これがあなたのチームの選手のもので、これらはまったく同じです。あなたところの選手はスーザンの隣なので、彼女の答案を見て書いたのです。」

コーチは「あるいは、もしかするとスーザンが彼の答案を写したのかも。」と言った。「違うとは証明できませんよ。」

すると学部長は「これを見てください。」と言い、こう続けた。「スーザンはこの問題の答えが分からなくて、『分かりません』と書いています。そしてあなたの選手はこう書いています。『同じくわかりません。』」

英文 20

空所補充 3

次の文は笑い話であるが、[]に入るものとして最も妥当なのはどれか。

A young boy was playing with a ball in the street. He kicked it too hard, and it broke the window of a house and fell inside. A lady came to the window with the ball and shouted at the young boy, so he ran away, but he still wanted his ball back. A few minutes later he returned and knocked at the door of the house, and when the lady answered it, he said, "My father's going to come and fix your window very soon."

After a few more minutes a man came to the door with tools in his hand, so the lady let the boy take his ball away.

When the man finished fixing the window, he said to the lady, "That will cost you exactly ten dollars."

"But aren't you the father of that young boy?" the woman asked, looking surprised. "No," he answered, equally surprised. "[]"

- 1 But this is a special price.
- 2 Are you the one who asked me to come?
- 3 But I am his brother.
- 4 Aren't you his mother?
- 5 I am a skilled repairman.

アプローチ

* 登場人物がどのような人間関係であれば笑い話になるのか、に着目しよう。

- ① 修理工である男は、婦人にとってどういう存在であれば、笑い話になるのだろうか。
- ② 被害者である婦人は、男にとってどういう存在であれば、笑い話になるのだろうか。
- ③ 「同様に驚いた」<equally surprised>の equally が最大の手がかり。

解説

- 1 あなたはあの子の父親ではないのですか <aren't you the father of that young boy?> という婦人の問いかけに対して、「特別価格です」<this is a special price>では会話にならない。
- 2 男は最後に、「いいえ」と彼も同様に驚いて答えたことを考えると、「あなた(婦人)が私(男)を呼んだのですか?」<Are you the one who asked me to come?>では笑い話のオチにならない。
- 3 「でも私はあの子の兄ですよ」では、面白いところがない。
- 4 正しい。同様に驚いて<equally surprised>, 婦人の驚き<aren't you the father of that young boy?>に対応して、「奥さんはあの子の母親じゃないんですか?」<Aren't you his mother?>と答えたとすれば、どちらも相手を親だと思っていたという笑い話になる。
- 5 「私は熟練修理工です」では、笑い話になっていない。

正答=4

【和訳】

少年が通りでボール遊びをしていた。少年の強く蹴りすぎたボールが、家の窓を壊し、中に入った。婦人がボールを持って窓辺に現れ、少年に向かって怒鳴りちらしたので、彼は走って逃げたが、やはりボールを返してもらいたかった。数分後少年はその家に戻り玄関のドアをノックし、婦人が返事があるところ言った。「父さんがすぐに直しに来ます。」数分後に道具を持った男がやってきたので、彼女は少年にボールを返した。男は窓の修理を終えると婦人に言った。「ちょうど10ドルになります。」「でもあなたはあの子の父親じゃないの?」と婦人が驚きながらたずねると、「いいえ、とんでもない。」と彼も同じく驚いて答えた。